

龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会会議録

			記録者	スポーツ・国体推進課	関ヶ原 功
供 覧	部 長	課 長	課長補佐	主査・係長	グループ員
件 名	平成29年度第2回龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会				
日 時	平成29年9月1日（金）午前10時～午前11時				
場 所	龍ヶ崎市役所5階 全員協議会室				
主 催 者	龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会会長 田簀健太郎				
出 席 者	[委員] 田簀健太郎会長，山崎伸夫副会長，田畑亨委員，池田由枝委員，安藤佳子委員，徳丸秀樹委員，石山治男委員，石川賀杜代委員，青山利正委員，高田利信委員，鮎川光義委員，三淵和也委員，青木サヨ子委員，上原正和委員，鴻巣綾子委員，田賀直樹委員，大野順雄委員 欠席委員…時田淳次委員，菊地光夫委員				
	[市] ＊松尾健治教育部長 ＊スポーツ・国体推進課…北澤昌雄課長，坪井龍夫課長補佐，杉本桂子課長補佐，記録者				
傍聴人の数	なし				
会議の内容	議 事 (1) 龍ヶ崎市第2次スポーツ推進計画骨子案について				
情報公開	公 開	非公開（一部非公開を含む）とする理由			年 月 日
	部分公開 非 公 開	公開が可能となる時期（可能な範囲で記入）			
下記については，平成29年9月1日（金）に開催した平成29年度第2回龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会の会議録に相違ないことを確認したので署名する。					
会 長 _____					
委 員 _____					
委 員 _____					

	発言の内容（要旨）
事務局	〔開会〕
松尾教育部長	〔挨拶〕
田籐会長	〔挨拶〕
事務局	<p>それでは、会議次第に従いまして、議事に移りたいと思います。</p> <p>ここからの議事の進行につきましては、龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会条例第6条第1項の規定により、会長にお願いしたいと思います。田籐会長よろしくお願ひいたします。</p>
田籐会長	<p>よろしくお願ひします。</p> <p>始めに、本日の審議会は、委員総数19名のところ、出席者は17名で委員の過半数が出席されていますので会議が成立していることを宣言いたします。</p> <p>続きまして、会議録署名人の指名をさせていただきたいと思ひます。</p> <p>今回は、青山委員と高田委員にお願いしたいと思ひますが、よろしいでしょうか。</p>
	〔両委員了承〕
田籐会長	<p>お二人には会議録が作成され次第、事務局から連絡させていただきますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、議事に入らせていただきたいと思います。</p> <p>議事1の龍ヶ崎市第2次スポーツ推進計画骨子案について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(1)龍ヶ崎市第2次スポーツ推進計画骨子案について</p> <p>〔説明〕</p>
田籐会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今の説明につきまして、御質問又は御意見等がございましたら、お願ひいたします。何かございませんでしょうか。</p>
田畑委員	<p>計画の中身については私は賛成ですが、計画の理念でもありますように、言葉の定義の部分でスポーツ健幸の「幸」の字を使っていますが、これは、昨年度から総務省やいろいろな所で取り上げられてはいるものの、まだまだ市民レベルでは、この健幸の「幸」の字というのはなかなか根付いていないと感じています。</p> <p>計画の中でこの文字を使うと、ある市民が誤植ではないかと思ったりする場合もあって、私の中でもこの健幸という言葉の定義がなかなかついていない状況で、ここであえて使う意味があれば、教えていただきたいのですが。英語で言うと、ウェルネスに近いのかなという部分はありますけれども、かなり定義が難しい部分であり、質問しました。</p>
松尾教育部長	<p>ただ今の御意見のとおり、他の会議でも、健幸の「幸」、幸せの字を使うことに対して、もう少し丁寧に説明したらいかがですかという御意見があり、ごもっともと思ひます。</p> <p>4ページを見ていただくと分かりますが、龍ヶ崎市のまちづくりの基本方向を示す最上位計画と言われるものが「第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」でございます。この最上位計画に基づいて、それぞれの分野計画を作り込んでいるところです。この最上位計画の中の四つの重点目標の一つがスポーツ健幸日本一で、「幸せ」の字をわざわざ使って、これからの高齢化社会に向けてより多くの人たちが、いわゆる健康寿命を延ばしていくための活動をしていこう、そういう活動の背中を押していきたいという思いを込めて、こういう言葉を使ったところでございます。</p> <p>そういう全体の体系、流れがありますので、このスポーツ推進計画においても、この「幸せ」を使わせていただいておりますが、御指摘のとおり、多くの方にこの意味、内容を理解していただくためには、それをきちんとフォローしなければならないのかなと思っております。担当でも、今回の会議ではもう少し補足を入れて分かるような形でお示ししたいと思ひしているところでございます。よろしくお願ひいたします。</p>

田籾会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>4 ページの真ん中に枠組みで地方スポーツ推進計画という形で出ていますけれども、いずれにしても、少し説明をいただくと親切ということではいかがでしょうか。</p>
田畑委員	<p>説明を入れると、やはり健康寿命の話になってきて、生涯スポーツ社会の話ではなくて、高齢者スポーツに特化する中身になっていくのではないかという危惧もあり、私が自分でこの健幸という言葉の注記を作りなさいとなったときに、すごく難しいな、自分の中でもどういう言葉を使っていけばいいのかなと、私の中でも整理がついていない部分があったので、時間を掛けて理解していけばいいのかなというところがありました。</p>
田籾会長	<p>少なくとも学術的にはこの健幸という言葉が今は無いので、龍ヶ崎市として、最上位計画に掲げられている言葉ですから、龍ヶ崎市ではこのように使うという説明があれば、その下に位置付く、第2次スポーツ推進計画については踏襲されます。また、特に問題はない、日本語的には何となく分かります。健康で幸せですから、ウェルネスだけではなくてハッピーだということですね。ただ、何をもちてハッピーかということは、いろいろあります。できるだけ多くの方が分かるような注釈を作ってください。</p>
松尾教育部長	<p>実は、先日の教育委員会でも同じような話がありまして、もう少し丁寧に取り扱った方がいいという御意見を頂いたところです。</p> <p>先ほどの私の説明が足りなかったのですが、高齢化の進行を踏まえて、健康寿命のお話をさせていただきました。特に高齢者の方々の日常的な運動・スポーツを促進していきたいという思いと、現役世代のスポーツ活動の割合が他の世代に比べると比較的低いという問題意識があって、この方々が高齢化をする前から日常的に運動していただかないと、健康寿命の延伸に結びつかないと思いがあります。主なターゲットとしては、現役世代とその上の世代の二つと考えております。</p> <p>そういったトータルの活動を通して健康寿命を伸ばしていきたいという考えでございまして、ウェルネスとかハッピーとかハピネスとか、その辺を取り混ぜた考え方にしているところなのですが、もうちょっと工夫をして説明を加えないといけないのかなと思っております。次回、その辺をお示しできればと思います。</p>
鴻巣委員	<p>たつのごアリーナは、松葉地区の高齢者からの強い要望があって、健康増進施設として当時の市長が計画を始めたということ、当時、ワーキングチームに入っていたものですから聞いています。龍ヶ崎の現状を見ると、健康増進につながるような使われ方をあまりしていません。たつのごアリーナの利用者が非常に増えているということですが、市民の利用率や65歳以上又は65歳以下など、恒常的に利用している人のデータは把握しているのかということと、健康増進ということであるのであれば、他市などでは、健康増進課と連携を取ってやっている所があります。</p> <p>取手市などでは、現役世代が通勤の帰宅時に利用できるように、駅の近くにジムがあり、そこでは血圧の測定機械なども置いてあるということです。龍ヶ崎市においては、健康増進ということで、スポーツ・国体推進課との連携でやっていることがありましたら聞かせてください。</p>
事務局	<p>健康増進課とは、本年12月上旬と一緒にウォーキング大会を開催する方向で、調整を進めているところです。健康増進課でも健幸マイレージということで、スマートフォンにアプリをダウンロードして歩いた歩数がカウントされると何らかの特典に反映されるという事業を始めます。</p> <p>この健幸マイレージの普及活動と連携しながら、市民の健康増進に少しでもつなげていきたいという思いがあるところがございます。今後、この新しいスポーツ推進計画を推進するに当たり、連携を深めていければと考えております。</p>
田籾会長	<p>ありがとうございました。よろしいでしょうか。</p>
鴻巣委員	<p>ウォーキングというと恒常的に一定の時間を取るため、現役世代がやるのはなかなか難しいことかと思えます。イベントに特化したものと、そのとき限りになってしまいます。部長が言われたような将来の健康寿命につながるようなことは、少なく</p>

	<p>とも中年前期辺りから始めないと駄目だと思います。そのようなプログラムがウォーキングだけではちょっと少ないというふうに思いました。その辺の検討もよろしくお願いたします。</p>
松尾教育部長	<p>ウォーキングの件ですが、今年度から健康増進課やスポーツ・国体推進課など、関係する課で調整を加え、健康マイレージ事業を12月にスタートする予定です。簡単に言うと、日常的に歩いてもらう、行動してもらう、そのきっかけづくりの事業です。特に現役世代の方は時間が取りにくいと思いますが、歩くことに関しては少し意識していただければ、日常的な活動・行動として可能ではないかと考えています。そういったものを実際に活動・行動していくためのきっかけづくりをしていくのが、この健康マイレージ事業だと思っております。</p> <p>そういう中で日常的な行動変容を目的にしているのです、イベントはあくまでもこういう事業を市が取り組んでいるというピーアールの場と考えており、実際にはその日常活動を促進するためのマイレージ事業を展開していくと、御理解いただければと思っております。</p>
青木委員	<p>マイレージ事業のことは、申し訳ないですが初めて聞きました。龍ヶ崎市がそういうことに取り組んでいることを知らなかったです。これから広報活動をして、市民の方に伝達して、みんなに分かってもらう内容だということが分かりましたので、是非みんながそういうことに参加できるように、それから、楽しくできるように計画していけたらいいなと思ってお話を聞いていました。</p>
山崎委員	<p>先ほどの鴻巣さんの御意見よく分かります。僕もサラリーマンが経験ありますけれども、日常的にということになると、ほとんど不可能です。何をやるかということやはり土日中心になります。これは仕方ないことで、行政がどうのこうのというよりも個人がどう動くかということと、今の社会が超過労働時間になっていて、これがきちんと整理されて余暇時間が持てないと非常に苦しい。いろんなことをやっても結局計画倒れになったり、無駄が生じます。そうであれば、役所が行政としてウォーキング事業に力を入れていきますけれども、これは日常の通勤でも可能です。</p> <p>僕の場合、自宅から何もしないで駅間を歩くということだけでも4,000歩近く歩けます。また、意識的にエレベーターやエスカレーターに乗らないようにする。下りの階段はそんなに苦にならないが、上りの階段は非常にきつい、そういうことを少しずつ皆さんにイメージさせることが必要です。ですから、事業をやるというより個人の意識を変えていくという方向でいかないといくら事業をやっても、それは無駄になります。ですから、そういう意識の啓発というのを事業としてやるのはいいのではないかなと思います。</p>
田籾会長	<p>少し補足になりますけれども、行政が作る計画なので、市民の健康というようなことが前面に出てきます。これは仕方ないことだと思っておりますが、実は何かのためにスポーツをやろうなんていうのは40年前の議論で、もう古すぎるんです。本当であればスポーツのためのスポーツをいかにするのかという計画が作られていくということが望ましいので、今、山崎さんがおっしゃったとおりだと思います。「趣味は？」と聞かれたときに、「スポーツをするのが趣味です。」と、ちょっとでも時間があつたら何かスポーツをやりたい、そういう市民が一人でも増えれば、実施率が勝手に上がっていきます。田畑先生が今日も走り過ぎたように。誰に走れと言われたわけじゃなく、走っちゃうんですね。</p> <p>その点、私は走らない。全然動かなくて、まずいと思って、ちょっと食事をカットしてダイエットを始めたところです。たばこもさすがに、そろそろやめようかなと思って、実践し始めたところです。</p> <p>ですから、委員の皆様におかれましては、何々のためというのは、今だけだという意識で次を見据えた計画になっていくことが、一番望ましいというふうに私は思っています。</p> <p>スポーツに携わっていること自体がすごく幸せだという市民の方が一人でも多くなっていくと、龍ヶ崎市のスポーツの状況というのは、本当にいい状況になっていくのではないかなと思います。</p>

	<p>せっかくこの場で、時間を取って御議論いただいていますので、何々のためというのは、もうそろそろ卒業という意識を持ちつつ、計画を作るという現実も踏まえながら考えていただくということが一番いいかなと思います。補足でございます。それ以外に何かございますでしょうか。</p>
池田委員	<p>今、会長さんが言われたことは、もっともかと思えます。私もスポーツに携わって30年近くになりますけれども、もし、スポーツをしていなかったら、今の健康状態は多分保てなかったと思う今日この頃です。</p> <p>これから、茨城県で国体があり、そのあとオリンピックもあります。だから、スポーツ観戦やテレビ中継も徐々に増えてきています。今、スポーツの波が来ていると思えますけれども、その波に便乗して先ほどのウォーキング大会や、その他にももっと龍ヶ崎が主催でできることがあると思えます。どんどん参加できる場を作ってあげて、高齢者でも小中学生でも高校生でも社会人でも、いろいろな競技ができる場を作っていけば、参加人数も増えるし、スポーツをしなければ健康が維持できないという意識付けができてくるかなと思います。何もない時期よりも、国体やオリンピックなど、その時期を逃さないでやっていただきたいと思えます。</p> <p>スポーツ推進委員なので、以前にもいろいろな大会やニュースポーツなどをやっていましたが、龍ヶ崎市はいつも時期を逃していました。3年4年と遅れてやっていた事業があつて、もうちょっと早くやっていたらもっと波に乗っていくことができたと思うことが多々あつたので、今だからこそできるイベントをいろいろやっていただきたいと思えます。</p> <p>あともう一つなのですが、今は高齢者の方でもスマートフォンをお持ちです。私のスマートフォンでは、「今日は何歩歩きました」と言ってくれるんですね。市でも将来的に市民の方に登録してもらって、例えば「マイレージ事業です。今日は何歩歩きましたね」とコメントするとか、そういうものがあると現役世代の方も楽しみながらウォーキングすることができるかなと思いました。</p>
田籾会長	<p>最上位のプランにスポーツ健幸が入っていますので、スポーツにも配慮していただけるのではないのでしょうか。その他、御意見等ございますでしょうか。</p>
青木委員	<p>31 ページに数値目標が一覧表で出ています。健幸マイレージについては、将来的に3,000人くらいを目指すということですが、この数値目標というのは、どのような形で出されたものか、お知らせください。</p>
田籾会長	<p>その根拠ということですね。</p>
青木委員	<p>例えば、元気アップ体操というのは、6年間で20人ですね。6年間で20人増やす目標は低いかなと思ったので、この目標は全体的にどのように決めたのでしょうか。</p>
事務局	<p>それぞれの数値目標は、各事業の担当から数値目標を挙げていただいて集約して設定しております。元気アップ体操については、現状の参加者の年齢層としてかなり高齢の方が参加されているということで、最低限現状維持を目指したいという目標値の設定となっております。その他、それぞれ各担当において、現状を踏まえた上での目標を挙げていただいて整理をしています。</p>
田籾会長	<p>ありがとうございました。よろしいでしょうか。</p>
青木委員	<p>元気アップ体操というのは、年齢的にはきつい体操かなと思うので、今おっしゃったように将来的にその体操をやる方がそんなに増えないのではないかということですよ。そうかもしれないですが、今働いている方が定年になって参加するということを考えれば、目標を高く持ってもいいのかなと思いました。</p> <p>私に関わったのは、いきいきヘルス体操ですが、確かに平成26年度は2万1,000人、将来的には2万5,000人というのは、大体目標は近いかなと思っていました。ありがとうございました。</p>
田籾会長	<p>その他にございますでしょうか。特に御意見等が無いようでしたら、以上をもちまして本日の議事を終了させていただきたいと思えます。ありがとうございました。</p>

事務局	<p>慎重審議ありがとうございました。</p> <p>次回の審議会は、11月上旬頃の開催を予定しております。</p> <p>内容につきましては、本日の御意見を踏まえながら、計画案の検討・整理を進めまして、パブリックコメント案という形でお示しをして御審議をいただければと考えております。詳細につきましては調整の上、改めて御案内させていただきたいと思っております。</p> <p>それでは、以上をもちまして、平成29年度第2回龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会を閉会させていただきます。</p> <p>本日は、御出席いただきありがとうございました。</p> <p>【閉会】</p>
-----	---